

令和5年度 情報交換会  
事例発表

「ジョブジョブとかち」の拡張に向けて  
—これまでの取組を踏まえたステップアップ—

# ▶生涯現役地域づくり環境整備事業

## — 事業構想概要 —

# フードバレーとかがちダイバーシティ人材活躍 促進、就労支援マッチング事業



実施地域：北海道帯広市

実施主体：帯広地域雇用創出促進協議会

構成員一覧

：帯広市、帯広商工会議所、北海道中小企業家同友会とかがち支部、とかがち財団  
帯広信用金庫、帯広市シルバー人材センター、帯広市社会福祉協議会、  
十勝障がい者就業・生活支援センターだいち、北海道十勝総合振興局、  
とかがち地域活性化支援機構

重点業種：農業及び農業関連、食関連、観光関連、建設関連、福祉（介護・保育）

# 1-1 事業の趣旨・目的

## 1) 申請地域の概要

帯広市は、十勝平野中心部に位置する人口163,853人（令和5年1月末現在）の北海道十勝地方の政治・経済・文化の中心地である。農業を基幹産業とした十勝地域の農産物集積地であり、平成20年からは「フードバレーとかち」を旗印とし、十勝・帯広地域の市町村はじめ産学官金融機関などが一体となって、人・経済の交流を活性化しながら農業を基盤とした食関連産業の発展を推進している。

十勝・帯広地域の雇用者では、卸・小売業が一番多く、医療・福祉、製造業、建設業などと続く。

当地域の雇用者数※1は64,630人で、この5年間で3.6%減少している。そのうち65歳以上の高年齢者は令和2年で8,411人と、5年前と比較して32.7%増加したほか、雇用者に占める割合は13.0%となっており、5年前と比較して3.6ポイント増加している。一方、65歳以上80歳未満の人口は帯広市に32,872※2人おり、まだまだ社会で活躍できる人材が潜在的にいることが想定される。

高年齢者の業種別の雇用者数は、多い順に卸・小売業12,774人、医療・福祉10,844人、建設業5,645人、製造業5,553人、運輸業・郵便業3,798人、となっている。

また、業種別だけでは推し量れないが、地域経済全体が農業を基盤としているため、あらゆる業種は農業や食関連産業、それらを活用した観光業などと密接に関連した地域特性を持っている。

※1：令和2年・平成27年国勢調査

※2：令和5年1月現在 帯広市

# 1-2 事業の趣旨・目的

## 2) 当協議会の取り組みやその実績

- ▶ 既存の帯広地域雇用創出促進協議会は2005年2月に設立し現在に至るまで18年にわたり帯広・十勝地域の雇用機会拡大につながる事業を実施してきた団体となっており、2020年5月からは生涯現役促進地域連携事業(連携促進コース)を受託し「地域の食と観光と農業を基盤としたフードバレーと勝ちシニア人材活躍促進事業」に取り組み、地域の特色を活かし、元気なシニア人材と地域企業等への再就職機会をコーディネートし、当初計画を大きく上回り成果を残してきた。3か年度の目標就労決定数(アウトカム)198人のところ、目標の140%となる278人のマッチングを達成(2023年2月末現在)している。
- ▶ 同協議会と、帯広市が平成19年より障害者の雇用支援として継続している「帯広市地域自立支援協議会」の就労・社会活動部会、同じく帯広市が平成29年より子育て世帯(ひとり親世帯含む)の雇用支援を継続している「帯広市子ども・若者支援地域協議会」の雇用事業部門が連携し、この3組織がこれまで取り組んできた経験やネットワークを結合・基盤とし、シニア層を核としながらも子育て世帯や障害者も対象とした総合的な雇用支援体制を構築することを目的として、新たな帯広地域雇用創出促進協議会(既存名称踏襲)を組織する。
- ▶ これらの3つの協議会による実践や経験とこれまで培ってきたネットワークを活かし、さらにステップアップし対象範囲を広げるとともに、実際に事業に取り組むことで見えてきた課題を解決するために、生涯現役地域づくり環境整備事業に提案することで、モデル事業、モデル地域として、3年後の自立的な事業への転換を図ることも目標としている。

# 1-3 事業の趣旨・目的

## 3) 本事業の目的

本事業では、地域の特色を生かした食と観光、農業を基盤とした産業をベースとした地域の農業及び農業や食関連、観光関連企業などや農業基盤を支えている建設業などを主な対象として、地域の元気なシニア人材や障がい者、ひとり親など就労時にミスマッチを起こしやすい人材を「ダイバーシティ人材」と位置づけ、昨今の地域における大きな課題となっている慢性的な人材不足解消と、生きがいややりがい、さらに豊かな生活を送るための収入確保を可能とすることで、地元企業などへの就職や請負業務など幅広い視点でのマッチングをコーディネートすることで、ミスマッチの解消による求人、求職両者の課題解決を図る。

また、地域経済団体、経営者団体などと連携して、これまでは社内の若手社員などが担っていた既存の業務を見直し、シニア人材をはじめとするダイバーシティ人材が担い、活躍できるよう新たな仕事づくりを行うと共に、仕事の組み直しや細分化を図ることで短時間業務や比較的平易な仕事をつくり出し、モデル的にダイバーシティ人材の雇用促進を目指す。

さらに、マッチングの精度を上げるため、生涯現役促進地域連携事業（連携推進コース）で開発活用してきたシニア世代と企業をつなぐ人材マッチングシステム「ジョブジョブとかちシニア」を大きく改変し、新たに「ジョブジョブとかちダイバーシティ（仮称）」として対象人材の範囲を広げ、あらゆる世代や多様な人材がマッチングできる仕組みをつくりあげることで、事業計画期間終了後も地域に根ざした自立した支援体制を構築できることを目的として、本事業構想を提案する。

# 2-1 重点業種における高年齢者の雇用機会の確保における課題

## ① 農業および農業関連産業

- ▶ 十勝帯広地域を支える主要産業
- ▶ 農業経営者および農業従事者の高齢化に伴う慢性的な人材不足が深刻化
- ▶ 農業・酪業の年代別就労決定においては、半数以上が70代以上と高く、実際のマッチング状況からシニア世代の参入余地あり ※生涯現役促進地域連携事業(地域連携コース)より ※令和2-4年度

## ② 食品加工、飲食など食関連産業

- ▶ 帯広市は近隣の市町村や大学・試験研究機関等、地域の産学官金融機関などと連携し「フードバレーとかち」を旗印とした食関連産業の発展を推進
- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大により、一時的に事業を縮小、従業員も減少している事業所が多い
- ▶ 食品加工現場では、一定の熟練を必要とした作業なども存在しており、人生経験豊富なシニア人材のマッチングや、機械化・IT化しきれていない分野での障がい者等ダイバーシティ人材の活用

## ③ 観光関連産業

- ▶ 2019年、NHK朝の連続テレビ小説「なつぞら」の放映を契機に十勝帯広地域への観光者数増
- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大収束により、ホテルの清掃業務などは急激な宿泊者の増加などに対応しきれず、観光関連産業は慢性的な人材不足

## ④ 農業基盤整備など建設関連産業

- ▶ 約6割※の企業が人手不足の状態 ※令和3年度帯広市事業所雇用実態調査報告書より
- ▶ 建設業を支える業務として誘導・警備の業務などについても、令和2年度より実施してきた生涯現役促進地域連携事業においてもシニア世代のマッチング成果がある。

## ⑤ 福祉（介護・保育）

- ▶ (保育)共働き世帯が増加傾向による需要増
- ▶ (介護)慢性的な人手不足の中、期待されていた外国人材の活用も新型コロナの影響や急激な円安基調の影響により、日本を離れる外国人材が多く
- ▶ 令和2年度より実施してきた生涯現役促進地域連携事業においては、就労決定者数全体の15.5%が介護・保育などの福祉系が占めているなど、今後の就労環境の整備や待遇見直しなどにより、さらにマッチングが増えることが想定

## 2-2 重点業種における高年齢者の雇用機会の確保における課題

### ① 農業および農業関連産業

- 農業の令和2年度の雇用者数は 1,734 人でこの5年間で1,762人から1.6%減少した。そのうち65歳以上の高年齢者は、310人から367人と18.3%増加し、高齢者がしめる割合も21.2%と3.6ポイント増加した。
- 関連する職種として生産工程の職業の有効求人倍率は3.13倍で、令和4年の2.98倍から増加傾向にある。

### ② 食品加工、飲食など食関連産業

- 製造業の令和2年の就業者数は5,553人で、この5年間で6,571人から15.5%減少し、65歳以上も558人で295人から89.2%増加した。高年齢者が占める割合は10.0%と5.5ポイント増加している。
- 関連する職種として、販売の職業の有効求人倍率は2.82倍で、令和4年の2.57倍から増加傾向にある。

### ③ 観光関連産業

- 観光関連産業として、宿泊・飲食サービス業の令和2年の就業者数は3,437人で、この5年間で3,888人から11.6%減少し、そのうち65歳以上は373人から517人と38.6%増加している。高年齢者の占める割合は令和2年が15.0%と5.4ポイント増加している。
- 関連する職種として、調理人、調理見習の有効求人倍率は2.24倍。また、給仕・接客サービス員の有効求人倍率は3.62倍、清掃作業の有効求人倍率は1.60倍と、いずれも高水準にある。

### ④ 農業基盤整備など建設関連産業

- 建設関連産業として、建設業の令和2年の就業者数は5,645人で、この5年間で6,184人から8.7%減少している。そのうち65歳以上は876人から1,125人と28.4%増加しており、高年齢者の占める割合も令和2年で19.9%と5.7ポイント増加している。
- 関連する職種として、建設・土木作業員の有効求人倍率は3.36倍で、令和4年の2.88倍からは増加傾向にある。

### ⑤ 福祉（介護・保育）

- 医療・福祉産業として、令和2年の就業者数は10,844人で、この5年間で10,144人から6.9%増加した。そのうち65歳以上は527人から979人と85.8%増加しており、高齢者の占める割合も令和2年で9.0%と、5.2ポイント増加している。
- 知識や経験を活かして、スクールバスの運転、備品、遊具等の修繕、警備などの作業で活躍が期待される。



## 2-3 重点業種における高年齢者の雇用機会の確保における課題

### ① 分野共通の課題

#### ▶ 高年齢者

- 現在就労していない元気な高年齢者や定年退職を機に新分野への転職を考えている高年齢者が様々な社会参加や人生設計を考える中で、65歳以降の就業を考えていく機会が必要。
- シルバー人材センターの会員が減少しており、新たな仕事を発掘する必要がある。
- 転職希望者の就業の可能性を高めるため、仕事の選択肢を広げるなど高年齢者の意識改革を進めるとともに、就職ノウハウの提供が必要
- 高年齢者の実情や経験を活かしアピールできる新たな出会いの場を創出することが必要

#### ▶ 障がい者

- 就労継続支援A型、B型事業者や就労移行支援事業所等が地域に増加する中、それぞれの事業所の仕事づくりや地元企業との連携が必要
- 就労支援事業所での作業内容によっては、企業内業務の一部を就労支援事業所が担うことで企業内の人材不足解消と就労支援事業所の仕事づくりでWin-Winの関係構築が必要
- 法定雇用率の対象範囲が中小、小規模企業に拡大していく中で、障がい者雇用によるミスマッチ、早期離職等防止のため、就労支援事業所、利用者と地元企業の関係強化、障がい者への意識向上、理解促進が必要

#### ▶ ひとり親

- ひとり親への就労支援については主に社会福祉協議会が担っているが、個々人の生活環境と企業の求める就労内容、時間等とのミスマッチ解消が求められている。
- また、求人・求職相互の理解促進と調整には両者の理解促進、受入体制構築のためのきめ細かな対応、調整が求められている。

#### ▶ 企業

- 65歳以上の雇用継続や中途採用を行う企業の増加に向けて、職域開拓や専門家による就業環境の改善、健康や能力低下への不安解消へ向けた取組が必要である。
- 個別企業だけではなく、業界における高年齢者の活用意識を高める必要がある。
- 法定雇用率の対象となる企業が地域の中小企業にまで広がってきており、事業所側の意識が高まっている。

## 3-1 支援メニューの内容

1. ダイバーシティ人材マッチングシステム構築による人材マッチング支援
  - ▶ スカウト型・オファー型人材マッチングシステム「ジョブジョブとかちダイバーシティ(仮称)」の構築、運用
2. シニアを中心としたダイバーシティ人材向け企業お仕事説明会の実施
3. シニア世代向けインターンシップ事業の展開
4. 農福連携や就労支援事業所と連携したダイバーシティ人材の人材マッチング
5. 企業向け、求職者向け意識改革セミナーの実施
6. 全方位型アナログ型就労支援メニューの拡充
7. 地域のダイバーシティ人材支援団体や企業団体と連携した事業展開

## 3-2 支援メニューの内容

### (1) ダイバーシティ人材マッチングシステム構築による人材マッチング支援～スカウト型・オファー型人材マッチングシステム「ジョブジョブとかちダイバーシティ(仮称)」構築、運用～

シニア世代を核としながら、ひとり親や障がい者、一般求職者も対象としたスカウト型人材マッチングシステムを構築し、運用を行う。多様な人材が、自身の職歴、資格、勤務条件などを匿名で公開し、地元企業へ情報配信することで、企業側からのアプローチによる面接、採用活動を行う。さらに、協議会支援員が企業側や求職者側のアドバイス役を担い、両者の条件面などの理解促進、調整の手助けとなることで、マッチング精度を高める役割を果たす。

### (3) シニア世代向けインターンシップ事業の展開

企業側の「高齢者にこの業務ができるか」という不安感と、シニア世代側の「この業務は自分の体力では難しいかも」という不安感の双方の思いを解消するために、無給での半日・3日間程度の短期間、短時間のお仕事体験や、実際に有給インターンシップとして1週間程度の業務従事を行うことで、求人・求職のミスマッチ解消を図る。短時間で無給でのインターンシップ・仕事体験や1週間程度のサイクルで働き方や自身の体力と釣り合う見極める有給での業務従事を通じて、シニア求職者の自身や手応えや業務内容への理解を促進することで、ミスマッチの低減を図り、企業側の人材定着率のアップにもつなげていく。

### (5) 企業向け、求職者向け意識改革セミナーの実施

#### ◆企業向けダイバーシティ人材活用好事例セミナーの実施

企業経営者や採用担当が高齢求職者やひとり親、障がい者等の雇用への意識醸成や社内体制整備を行える実践事例、好事例から学ぶセミナーを実施する。

#### ◆シニア求職者向け好事例紹介、再就職準備、自己分析、創業支援セミナーの実施

シニア求職者の再就職準備にあたっての自己分析や実際に就労実態好事例などを学ぶことで、再就職への意識醸成を図る。また、昨今注文されているシニア世代の創業などの事例や注意点などプラスとマイナスの側面両方を学ぶセミナーを実施する。

### (6) 全方位型アナログ型就労支援メニューの拡充

生涯現役地域づくり環境整備事業の主旨を理解しつつ、地域における就労支援の仕組みは、ワンストップですべての人材を対象として、切れ目ない支援をすることで地域の雇用環境は改善し、生涯現役地域づくりの環境が整備されると考える。そこで、シニア世代、ひとり親や障がい者などの区分けを超えた、あらゆる世代や属性の人材についても本事業において就労支援を実施する。

### (7) 地域のダイバーシティ人材支援団体や企業団体と連携した事業展開

帯広地域雇用創出促進協議会構成団体そのものが、地域の雇用を担う企業による経済団体、シニア人材やひとり親、障がい者の就労支援を担う団体やそれらを支える行政機関等により構成されている。

当協議会をプラットフォームとして、協議会事務局や職員と構成団体担当者と定期的な会議や情報交換の場を持つことで、その先にある個別企業や障がい者就労支援事業所、行政担当部署などと定期的な情報交換や情報共有、最新の動向把握を行う。

### (2) シニアを中心としたダイバーシティ人材向け企業お仕事説明会の実施

地元企業と高齢求職者やひとり親、障がい者および障がい者就労支援事業者などによる企業説明会(お仕事相談会)を実施する。複数社の複数人の求職者による合同企業説明会のようなタイプに加え、個別企業による企業見学会、企業説明会なども実施することで、求人企業と求職者間のコミュニケーションを通じたミスマッチ防止を意識した実施方法で行う。

### (4) 農福連携や就労支援事業所と連携したダイバーシティ人材の人材マッチング

知識や経験はあるが体力に不安のあるシニア人材と、体力とやる気はあるが知識や経験が不足し時には支援が必要な障がい者がそれぞれの役割分担することで、業務遂行可能となる仕組みづくりに取り組む。

特に障がい者就労支援事業所と連携することで、就労支援の一環として農作業や企業からの業務を就労支援事業所が業務委託・請負で実施する形式を取りながら、その業務に事業所の利用者(障がい者)が従事することで賃金や工賃を受け取る形での就労支援へとつなげていく仕組みの構築を行う。

ダイバーシティ人材がそれぞれの特性を活かしながら協力、連携し仕事に従事可能なことをモデル的に明示することで、すべての人が生涯現役で社会と関わりを持ち続けられる機運を醸成していく。

短期目標：人材マッチングの実践

長期的目標：意識醸成・環境づくり

実践的  
取組

基盤的  
取組

## 4 民間資金等の調達

### (1) 帯広市負担金

本事業の自走化に向けて帯広市が拠出するもの

### (2) ジョブジョブとかちダイバーシティ協賛金収入

本事業の1つの柱として計画されているスカウト型・オファー型人材マッチングシステム「ジョブジョブとかちダイバーシティ(仮称)」やシニアを中心としたダイバーシティ人材向け企業お仕事説明会に参加する企業などについて、1年目の令和5年度は企業登録を進めつつ、令和6年度からは賛同企業による協賛金を拠出することを計画している。金額などについては、令和5年度の実績状況から企業ごとの負担可能金額などを検討する。(想定は1口1万円程度)

# 5 自治体等が実施する地域福祉・ 地方創生等の地域活性化の取組

## 帯広市が実施している地域福祉・地方創生等の地域活性化などの取組

### (1) 地域福祉への効果

#### ア シルバー人材センターへの運営支援

高齢者と企業のマッチング事業等の実施により、就業機会の確保を図る。

#### イ 子育て応援事業所促進奨励金

子どもを生き育てやすい職場環境づくりなどにより、女性が安心して働ける環境整備を促進する。

#### ウ 障害者就労促進事業

障害のある人の一般就労や就労後の職場定着の支援などにより、自立や就労を促進する。

### (2) 地方創生への効果

#### エ UIターン促進事業

域外からの人の流れを作り、地元企業の成長を促す人材を確保する。

# 6 協議会組織等の体制整備

## (1) 協議会構成員に求める役割等について

### 【経済・経営者団体・産業支援機関】

#### 帯広商工会議所

会員企業へ定期発行刊行物やメールマガジンなどを通じて本事業の周知  
ダイバーシティ人材の雇用等に関する企業のニーズや実態などを本協議会へアドバイス、情報提供

#### (一社) 北海道中小企業家同友会とかち支部

会員企業へ定期発行刊行物やメールマガジンなどを通じて本事業の周知  
ダイバーシティ人材の雇用等に関する企業のニーズや実態などを本協議会へアドバイス、情報提供  
会員企業の中には農業者も多く参画しているため、農業分野における協力

#### (公財) とかち財団

地域の産業支援機関として、関連する企業等の情報提供や協議会への企業ニーズ等のアドバイスを行う  
当協議会の会計監査として、会計のチェック機能

#### 帯広信用金庫（地域経済サポート部）

地域金融機関として、取引先企業へ本事業の情報提供  
地域金融機関の地元企業支援として職業紹介事業者として情報提供や情報共有

#### 【シニア世代・障がい者、ひとり親等支援団体】

#### (公社) 帯広市シルバー人材センター

シニア世代の会員へ向け本事業の周知  
企業等からの仕事依頼等において、請負業務、人材派遣などについて情報共有、マッチング

#### (社福) 帯広市社会福祉協議会

高齢者、障がい者、ひとり親などの支援実施団体として、関連団体や利用者などへ向け本事業の周知  
社会福祉協議会が担っている障がい者、ひとり親等の就労支援と連携して、マッチング促進

#### 十勝障がい者就業・生活支援センターだいち

障がい者支援機関として、利用者や就労支援事業者などへ向け本事業の周知  
障がい者の就労支援等において、企業等の受入時にジョブコーチなどを通じた定着支援

#### 【事務局機能・実施主体、事業監査】

#### 帯広市経済部商業労働室商業労働課

本協議会の事務局機能を担い、関連する市役所他部署との情報共有やコーディネート  
本事業の周知を、広報などを通じて、市民や地元企業へ周知  
本事業実施に当たり、事業実施体制充実のための財政支援

#### (一社) とかち地域活性化支援機構

本事業の事務局機能  
事業終了後の事業引継ぎ、実施団体として事業継続  
関連企業にある職業紹介事業者などを通じて、事業の支援、バックアップ

#### 北海道十勝総合振興局

本事業と関連する施策などに関する情報提供や事業実施にあたるアドバイス、支援  
当協議会の会計監査として、会計のチェック機能

## 7 計画終了後の協議会の在り方

- ▶事業実施後は、帯広市の負担金収入や企業等からの協賛金収入などを財政基盤として、帯広地域雇用創出促進協議会が事業を引き継ぎ、事業継続する。
- ▶より公共性の高い分野でのシニア世代を含むダイバーシティ人材の諸問題への取り組みを、帯広地域雇用創出促進協議会が取り組み、具体的な職業紹介事業の分野となるダイバーシティ人材マッチングについては、自立・自走するというイメージで考えている。

# ▶「ジョブジョブと勝ち」の歴史

— 17年間の歩み —



## ▶ 「ジョブジョブと勝ち」の誕生

2005年2月 帯広地域雇用創出促進協議会 設立




### 【目的】

帯広・十勝地域の雇用機会拡大につながる事業を実施し、その事業の核となる産業において新たな雇用を創出する

2006年 厚生労働省委託 パッケージ事業の取り組み開始

事業の一環として、中途求職者の再就職を支援する  
企業オファー型の「ジョブジョブと勝ち」をスタートさせる

# 「ジョブジョブと勝ち」の歴史 -17年間の歩み-

事業実施期間	厚生労働省委託事業	帯広地域雇用創出促進協議会「ジョブジョブと勝ち」17年間の歩み	帯広市委託事業ほか	帯広市
2006～2008	パッケージ事業	再就職支援システム「ジョブジョブと勝ち」としてスタート <b>ジョブ・ジョブと勝ち</b>		
2009～2011	新パッケージ事業	厚生労働省委託事業と並行して協議会が「ジョブジョブと勝ち」を引き続き運営	地域人材確保・マッチング事業	
2012～2013	実現事業			
2014～2016	実践型地域雇用創造事業(第1次)			
2017～2019	実践型地域雇用創造事業(第2次)	2018年度より「ジョブジョブと勝ち」の補助的業務を行う。		2018年度より、帯広市に移管され、UIJターンの雇用促進がメインとなる。
2020～2022	生涯現役促進地域連携事業(連携推進コース)	シニア人材マッチングシステム「ジョブジョブと勝ちシニア」運営スタート 		「ビズロケと勝ち」に名称変更され、帯広市が引き続き運営。
2023～2025	生涯現役地域づくり環境整備事業	ダイバーシティ人材マッチングシステム「ジョブジョブと勝ちダイバーシティ」運営スタート 	帯広市負担金	

## ▶「ジョブジョブと勝ち」が続いている理由(1)

### 企業団体の協力

【一般社団法人 北海道中小企業家同友会と勝ち支部】

協議会構成団体である(一社)北海道中小企業家同友会と勝ち支部の会員企業向けメルマガに、「ジョブジョブと勝ち」の新規登録者情報を掲載

運営開始当時、約600社の企業に求職者情報を提供できたことが足掛かりとなった。現在も、850社以上の会員企業に週1回配信されるメルマガに、「ジョブジョブと勝ちダイバーシティ」新規登録者情報を掲載

【一般社団法人 と勝ち地域活性化支援機構】

(一社)と勝ち地域活性化支援機構は構成団体であると同時に協議会事務局の一員である。令和4年度までは、同機構所属の高齢者就労開拓アドバイザーと連携し、「ジョブジョブと勝ちシニア」企業登録の推進を図った。また、同機構を通じて、同機構会員企業から「こんな人材を探してほしい」という依頼を受けることも少なくない。

これら十勝の企業団体のネットワークを活用して情報を配信したり、求人情報の提供を受けて対応したりすることで、「ジョブジョブと勝ち」は地域の人材探し窓口として発展してきた。

## ▶ 「ジョブジョブと勝ち」が続いている理由(2)

### ハローワーク帯広の協力

「ジョブジョブと勝ち」の求職登録者に割り当てられるリクエスト番号を協議会とハローワークが共有し、リクエストを受けた求職者宛てに、ハローワークから求人票が郵送される。

雇用保険給付説明会での「ジョブジョブと勝ち」PRの場を提供、求職者への配布資料にパンフレット等の折り込み

「ジョブジョブと勝ち」事業説明会や登録会等の会場提供

登録募集チラシやセミナー・お仕事説明会チラシの設置、配布

協議会主催セミナーへの講師派遣

「ジョブジョブと勝ち」の登録対象となる求職者への事業紹介

ハローワークの協力なくしては「ジョブジョブと勝ち」の仕組みは成り立たない、重要な連携先

## ▶ 「ジョブジョブと勝ち」が続いている理由(3)

### 行政の協力

【帯広市経済部 商業労働室 商業労働課(旧 商工観光部 工業労政課)】

2006年から現在に至るまでの17年間に、7回連続して厚生労働省の事業に採択されたのは、帯広市の全面的なバックアップがあったからである。各事業の企画段階から計画期間満了まで、常に協議会の支えとなっている。

2009年度から2017年度までは、帯広市委託事業として「ジョブジョブと勝ち」を協議会が運営

生涯現役促進地域連携事業では、「ジョブジョブと勝ちシニア」登録募集チラシを市の広報に折り込むことにより、登録者数が大幅に増加

生涯現役地域づくり環境整備事業においては、資金面でも協議会を支えている。

市内公共施設へのチラシ設置

本事業の終了後も、帯広市の協力体制は継続される予定



## ▶ 「ジョブジョブと勝ち」が続いている理由(5)

### 「ジョブジョブと勝ち」マッチング好事例の情報発信①

「ジョブジョブと勝ち」を活用して就労が決まった求職者と、採用した企業の担当者双方へのインタビュー記事を好事例としてHPで発信

インタビュー...

2015-03-31 1442

#### ジョブ・ジョブと勝ちで就職決定「第51回 40代女性」

#がんばる先輩

「がんばる先輩紹介」ページ、第51回に登場して頂く先輩は、【つがやす歯科医院】にお勤めの女性です。



今後の夢や、今後の目標を教えてください。



目標はたくさんありますが、まずは早く先輩方の力になれるよう、商品知識をしっかりとつけています。

帯広市委託事業として「ジョブジョブと勝ち」を運営していた期間は、「がんばる先輩」と題しておよそ60件の好事例を紹介

#### ジョブ・ジョブと勝ち求職者登録システムの印象は？

元同僚に教えてもらいました。

登録後、情報公開するまでの道のりが長く、公開する内容の情報シート添削でも、ダメ出しが多くてくじけそうにもなりましたが、自分自身では長所だと気付かない部分を、長所だと気付くことが出来、最終的には自信にも繋がりました。

#### 求職活動で気をつけたことや苦勞したこと等がありますか？

私は、在職中に転職活動を始めたので、それほど頻繁に活動はしていませんでした。

年齢のせいもあってか、面接依頼(リクエスト)が全然来ない日々も続き、本当に企業側からの面接依頼は来るのだろうか・・・と心配になる時もありましたが、気長に待っていて良かったです。

# ▶「ジョブジョブと勝ち」が続いている理由(5)

## 「ジョブジョブと勝ち」マッチング好事例の情報発信②

「ジョブジョブと勝ち」を活用して就労が決まった求職者と、採用した企業の担当者双方へのインタビュー記事を好事例としてHPで発信するほか、創刊43年の歴史をもつ地元求人情報誌「プラスワン」にも記事として掲載されている。

ジョブジョブと勝ち シニア 職場訪問レポート

マッチング課長 じよぶまーが行く!

帯広地域雇用創出促進協議会が運営しているシニア人材マッチングシステム「ジョブジョブと勝ちシニア」。このシステムに求職者として登録後、企業から面接リクエストがかり、採用面接には人事部長決定した55歳(60代)の声と、55歳が勤める「株式会社 藤南商会」の取締役 平井部長が今回のマッチングについてインタビューしました。



**就労決定後**  
平井部長は、このシステムを通じて求職者として登録された55歳の求職者と、55歳が勤める「株式会社 藤南商会」の取締役として面接し、採用面接を経て、採用決定したと報告されました。

**採用企業について**  
株式会社 藤南商会は、帯広市に本社を置く、主に建設業に特化した企業です。求職者として登録された55歳の求職者は、このシステムを通じて求職者として登録された55歳の求職者と、55歳が勤める「株式会社 藤南商会」の取締役として面接し、採用面接を経て、採用決定したと報告されました。

**就労決定したシニア登録者の方のお仕事内容や働き方は、様々なものがあります。**

- 駐車場の管理(70代後半)
- 介護請求事務などの事務職(60代前半・女性)
- スーパーの店舗長(50代後半)
- 販売業務(70代前半・女性)等々...

※お応募にはお問合せ下さい

※今週号掲載誌で「新着の登録求職者」を掲載中、お問合せ下さい。

帯広地域雇用創出促進協議会 TEL:0155-67-1775 FAX:0155-67-1776  
帯広市南22条北2丁目2-3-9(社会福祉協議会センター内) 求人 会員登録 求職者登録  
E-mail: info@jobjob-tokachi.jp URL: https://jobjob-tokachi.jp

ジョブジョブと勝ち シニア 職場訪問レポート

マッチング課長 じよぶまーが行く!

帯広地域雇用創出促進協議会が運営しているシニア人材マッチングシステム「ジョブジョブと勝ちシニア」。このシステムに求職者として登録後、企業から面接リクエストがかり、採用面接には人事部長決定した帯広市内在住の55歳(60代)の声と、55歳が勤める「有限会社 トヨタファーム」小倉専二代代表取締役の今回のマッチングについてインタビューしました。



**就労決定後**  
小倉専二代代表取締役は、このシステムを通じて求職者として登録された55歳の求職者と、55歳が勤める「有限会社 トヨタファーム」小倉専二代代表取締役の今回のマッチングについてインタビューしました。

**採用企業について**  
有限会社 トヨタファームは、帯広市に本社を置く、主に建設業に特化した企業です。求職者として登録された55歳の求職者は、このシステムを通じて求職者として登録された55歳の求職者と、55歳が勤める「有限会社 トヨタファーム」小倉専二代代表取締役の今回のマッチングについてインタビューしました。

**就労決定したシニア登録者の方のお仕事内容や働き方は、上記以外にも様々なものがあります。たとえば...**

- 短時間勤務 60代男性・午前中の2時間のみスーパーの惣菜仕分けや出し業務に従事。50代女性・週20時間未満のスーパーでの出し業務に従事。
- フルタイム 50代女性・希望の多い経験のある事務職に就労決定し、一般事務補助業務に従事。
- 経験を活かす 70代男性・希望の飲食業界で採用が決まり、これまでの調理経験を活かす。
- 新分野にチャレンジ 70代男性・未経験の福祉業界を希望し、生活支援補助員として就労決定。

※お応募にはお問合せ下さい

※今週号掲載誌で「新着の登録求職者」を掲載中、お問合せ下さい。

帯広地域雇用創出促進協議会 TEL:0155-67-1775 FAX:0155-67-1776  
帯広市南22条北2丁目2-3-9(社会福祉協議会センター内) 求人 会員登録 求職者登録  
E-mail: info@jobjob-tokachi.jp URL: https://jobjob-tokachi.jp

ジョブジョブと勝ち シニア 職場訪問レポート

マッチング課長 じよぶまーが行く!

帯広地域雇用創出促進協議会が運営しているシニア人材マッチングシステム「ジョブジョブと勝ちシニア」。このシステムに求職者として登録後、企業から面接リクエストがかり、採用面接には人事部長決定した55歳(70代)の声と、55歳が勤める「関係会社と勝ち株式会社」の渡田社元社長に今回のマッチングについてインタビューしました。



**就労決定後**  
渡田社元社長は、このシステムを通じて求職者として登録された55歳の求職者と、55歳が勤める「関係会社と勝ち株式会社」の渡田社元社長に今回のマッチングについてインタビューしました。

**採用企業について**  
関係会社と勝ち株式会社は、帯広市に本社を置く、主に建設業に特化した企業です。求職者として登録された55歳の求職者は、このシステムを通じて求職者として登録された55歳の求職者と、55歳が勤める「関係会社と勝ち株式会社」の渡田社元社長に今回のマッチングについてインタビューしました。

**就労決定したシニア登録者の方のお仕事内容や働き方は、様々なものがあります。**

- 駐車場の管理(70代後半)
- 介護請求事務などの事務職(60代前半・女性)
- スーパーの店舗長(50代後半)
- 販売業務(70代前半・女性)等々...

※お応募にはお問合せ下さい

※今週号掲載誌で「新着の登録求職者」を掲載中、お問合せ下さい。

帯広地域雇用創出促進協議会 TEL:0155-67-1775 FAX:0155-67-1776  
帯広市南22条北2丁目2-3-9(社会福祉協議会センター内) 求人 会員登録 求職者登録  
E-mail: info@jobjob-tokachi.jp URL: https://jobjob-tokachi.jp

具体的な好事例を発信することで、「ジョブジョブと勝ち」に興味をもってもらうきっかけを作る!



# ▶ 「ジョブジョブと勝ち」が続いている理由(5)

## 「ジョブジョブと勝ち」マッチング好事例の情報発信②

厚生労働省委託事業 生涯学習促進地域連携事業（登録推進コース） 毎週更新

### ジョブジョブと勝ち シニア

登録者募集中 TEL: 0155-67-1775

仕事を探す時代から、企業があなたを見つける時代へ **登録無料**

登録完了後は企業からの直接リクエストを受け付け!

**シニアが活躍できる「働きたい」**

- 専業主婦がフルタイムで働きたい
- 専業主婦の仕事が自分のペースで働きたい
- 専業主婦の転職、年金が滞りされない雇用で働きたい
- これまでの経験やスキルを活かした仕事が見たい
- 1日1〜4時間程度に3〜4日ほど働きたい

**シニアに求められている「お仕事を」**

- スーパーなどの食品補充、商品準備
- 送迎車庫の運転、車検準備補助
- 育児、動物介護
- 高齢者の介護、高齢者施設管理、高齢者健康指導
- パソコン入力
- 飲食店、介護施設の清掃補助、配膳、洗い物

**登録希望の方はこちら** 専任スタッフが市内各コミュニティセンター等に設置してあります。必要案内までご連絡いただけます。（登録対象：年齢55歳以上）

**求職者に寄り添った丁寧なサポート！全行程無料！**

登録予約  
この予約はお電話です！

面接

WEB公表

リクエスト

企業からの応募

就労スタート

**ここがうれしいところ（全て無料）**

- セミナー、職業見学会、お仕事説明会などの情報をお届けします。
- 探すのが難しい時期活動の求人に出会えるチャンスが広がります。
- 書類一式の提出で、多くの企業に求職者の情報が伝わります。（書類作成もお手伝い致します）

**登録前に仕掛きを詳しく知りたい方はこちらにお申し込み下さい!**

シニアの方々のセカンドライフを豊かにするために、取り組んでいます。

帯広地域雇用創出促進協議会 TEL: 0155-67-1775 FAX: 0155-67-1770

帯広市中央市民センター3階303号室（帯広市中央市民センター）  
Email: info@job-job-to-kachi.jp

TEL: 0155-67-1775

0155-67-1775

0155-67-1775

weekly job magazine 毎日からポストがあなたの方に届くまで

### プラスワン

仕事情報誌 PLUS ONE

2023 9/11 vol.2101 定価 50円

厚生労働省委託事業 生涯学習促進地域連携事業（登録推進コース） **登録無料**

### ジョブジョブと勝ち シニア

次のお仕事さがし、1人で悩まずご相談下さい

## 今、シニア雇用55歳に多くの企業が注目!

約270社

登録からお仕事決定までしっかりサポートします!

**就労決定者 約3割が70代以上 約6割は60代**

**企業からのリクエスト率 91.7%** (リクエスト合計431件)

**70代男性 Aさん**

求職活動期間約3週間（1日1時間）  
求職活動期間約3週間（1日1時間）  
求職活動期間約3週間（1日1時間）

**70代女性 Bさん**

求職活動期間約3週間（1日1時間）  
求職活動期間約3週間（1日1時間）  
求職活動期間約3週間（1日1時間）

1. 求職者登録と無料センターでの仕事探し開始  
2. 面接と書類提出  
3. 登録完了!

TEL: 0155-67-1775

厚生労働省委託事業 生涯学習促進地域連携事業（登録推進コース） **登録無料**

### ジョブジョブと勝ち シニア

2023年10月スタート（予定）

10月から登録の対象が広がります!

登録者数 **326社**

登録からお仕事決定までしっかりサポートします!

70代以上の求職者（求職者の割合）

60代以上の求職者（求職者の割合）

TEL: 0155-67-1775

裏表紙の登録募集広告と中記事の「職場訪問レポート」のダブル掲載で登録推進を図る。

## ▶ 「ジョブジョブとかち」が続いている理由(6)

### 求職者や求人企業からの様々な相談に親身な対応

就職活動中の様々なお悩みだけでなく、就労後に困っていることなどについても、しっかり耳を傾ける。企業の担当者が求職者にリクエストをかけた場合は、リクエスト求人の仕事内容や勤務条件等に対する求職者の意向をいち早く聞き取り、企業の求人活動が効率良く進むよう心掛けている。

生涯現役促進地域連携事業では697件のリクエストに対応し、その都度企業や求職者と連絡を取り合う中で、時にはミスマッチを防ぐべく勤務条件などの調整を企業に働きかけたり、職場見学の提案などを行った。

十勝毎日新聞 令和2年9月10日付



#### 高齢求職者と企業をつなぐ 大石 清一さん

談らん

6期24年間帯広市議として活躍し、昨年引退。公共職業安定所を通して昨年9月に地域雇用創出促進協議会に入り、現在は高齢求職者と企業をつなぐシステム「ジョブジョブとかちシニア」の運営開始に向け奔走している。

1952年宮城県生まれ。帯広愛国小、帯広第七中、帯広南商業高卒。東京や帯広で民間企業に勤めた後、市

議に転身。年間200件前後の市民の相談に耳を傾けた。「議員時代に培った傾聴力が今のベースになっている。同世代の求職者の話を聞き、次の仕事につながるお手伝いをしたい」と張り切る。

「ジョブジョブとかちシニア」は10月スタート予定。「就労へのチャンスを広げるため、ぜひ登録を」と呼び掛ける。68歳。(神田唯可)



「ジョブジョブとかちin東京」の様子

生涯現役促進地域連携事業（連携推進コース）を実施するにあたり、市民相談歴24年、約3,000件の相談対応経験をもつ人材を戦略的に採用。求職者や企業の担当者から頼りにされる存在となっている。

平成27年9月26日、移住・交流情報ガーデン（東京）にて十勝へのUIターンを希望する求職者の相談対応を行う協議会の主任事業推進員

## ▶ 「ジョブジョブと勝ち」が続いている理由(7)

情報発信はターゲットを明確にしてコンスタントに！

情報発信方法	企業向け	求職者向け
ホームページ	●	●
SNS	Facebook、Instagram	LINE、Instagram、Facebook、x
メルマガ	●	
求人誌広告・新聞広告		●
チラシ・パンフレットの設置	●	●
構成団体のHP、会員向けメルマガ、会報折り込み、市広報折り込み等	●	●

▶生涯現役促進地域連携事業(連携推進コース)  
— 「ジョブジョブと勝ちシニア」取り組みの成果—

## 生涯現役促進地域連携事業(連携推進コース)における成果

シニア人材マッチングシステム



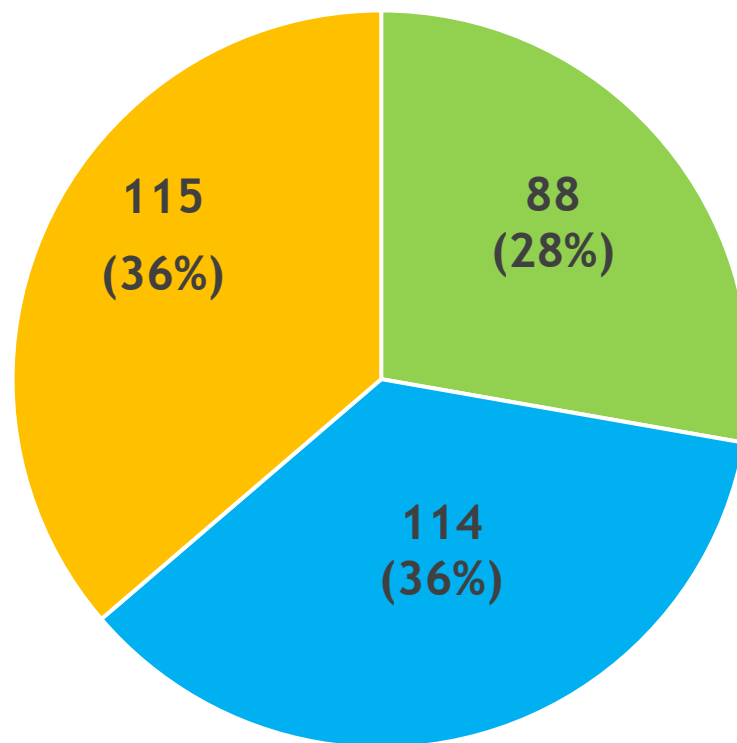
令和2年10月26日～令和5年3月31日

### 【事業終了時の実績】

- ・登録企業数 317社
- ・登録者数 278人
- ・就労決定 251人(延べ人数)

## 年度別 新規登録企業数

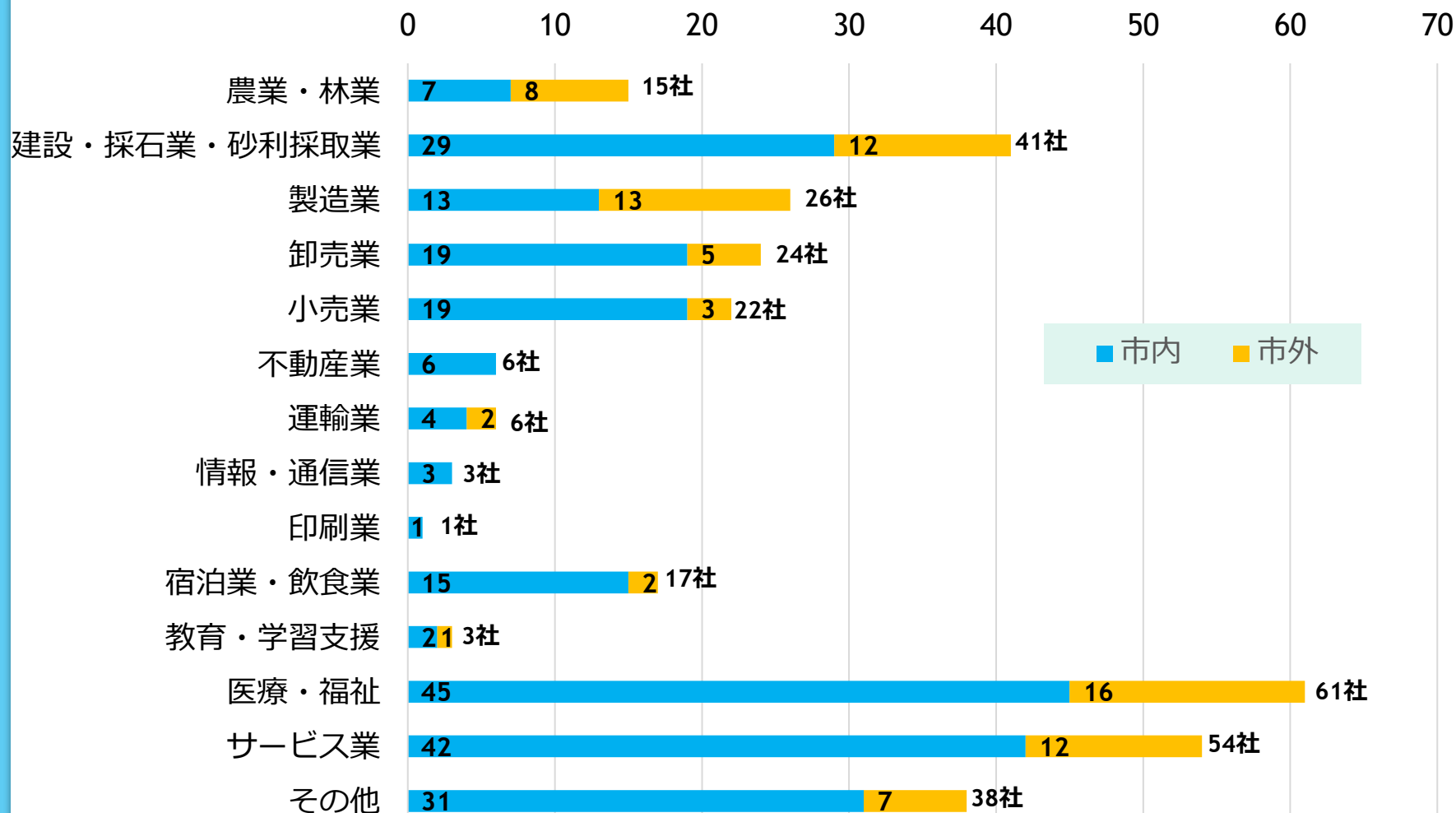
※2023/3/31現在 登録企業総数 317社



■ 令和2年度 ■ 令和3年度 ■ 令和4年度

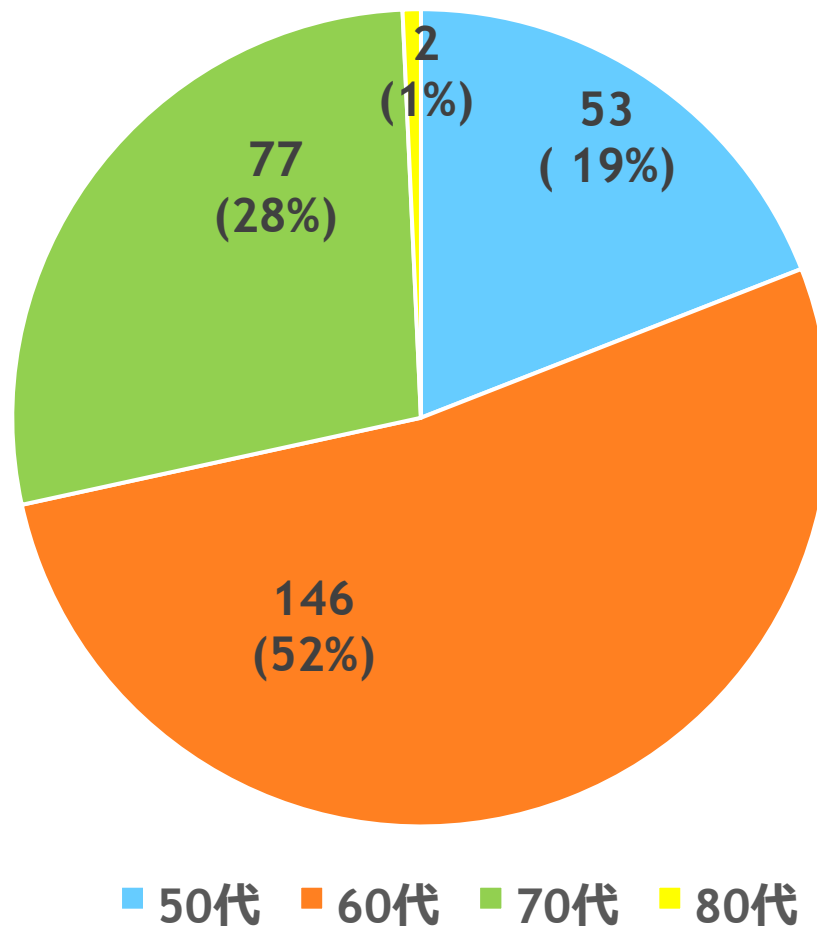
## 業種別・所在地別登録企業数

登録企業317社 (帯広市内236社/他町村81社) ※2023/3/31現在



## シニア登録者の年代別構成比

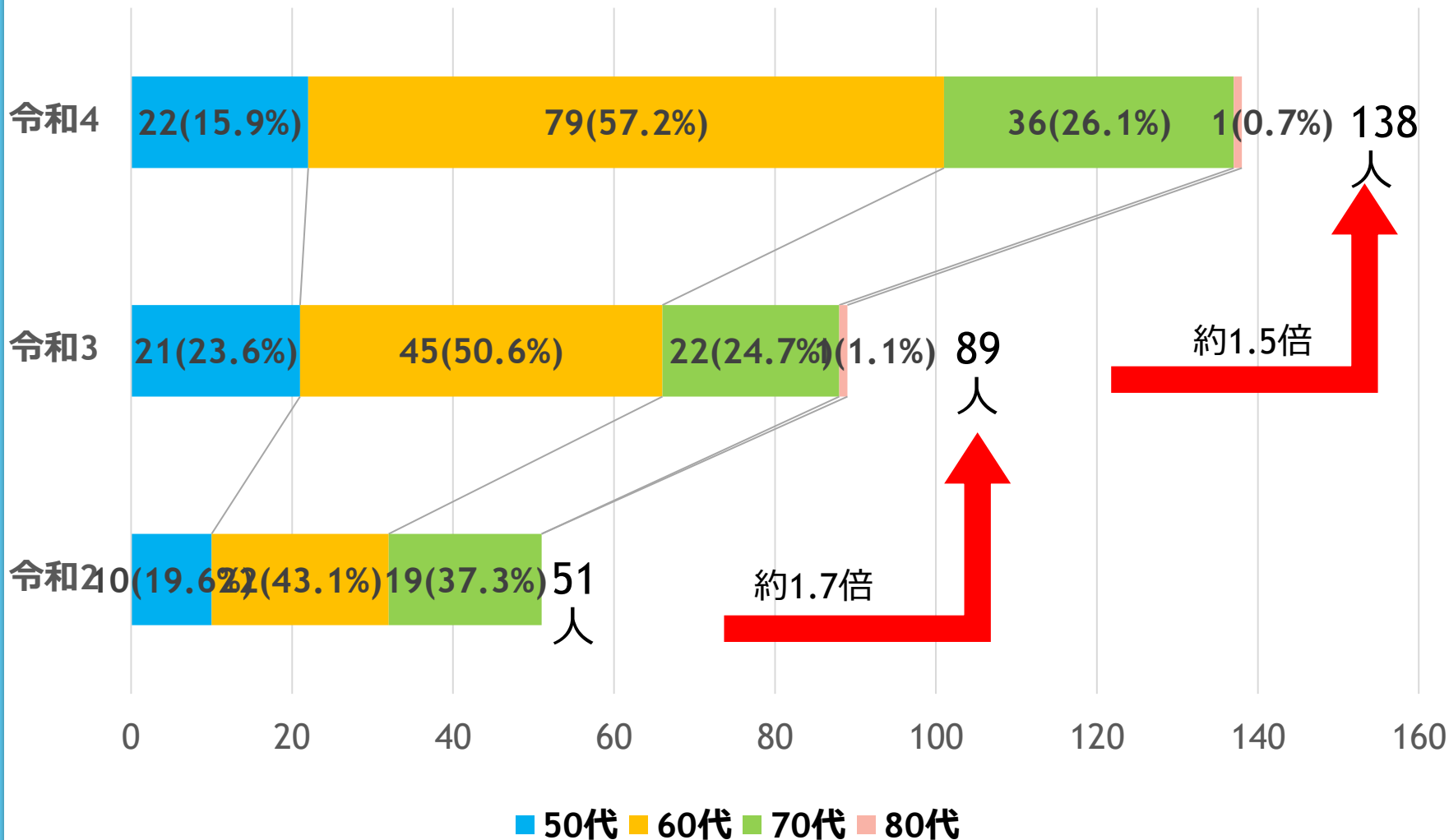
登録者278人 ※2023/3/31 現在





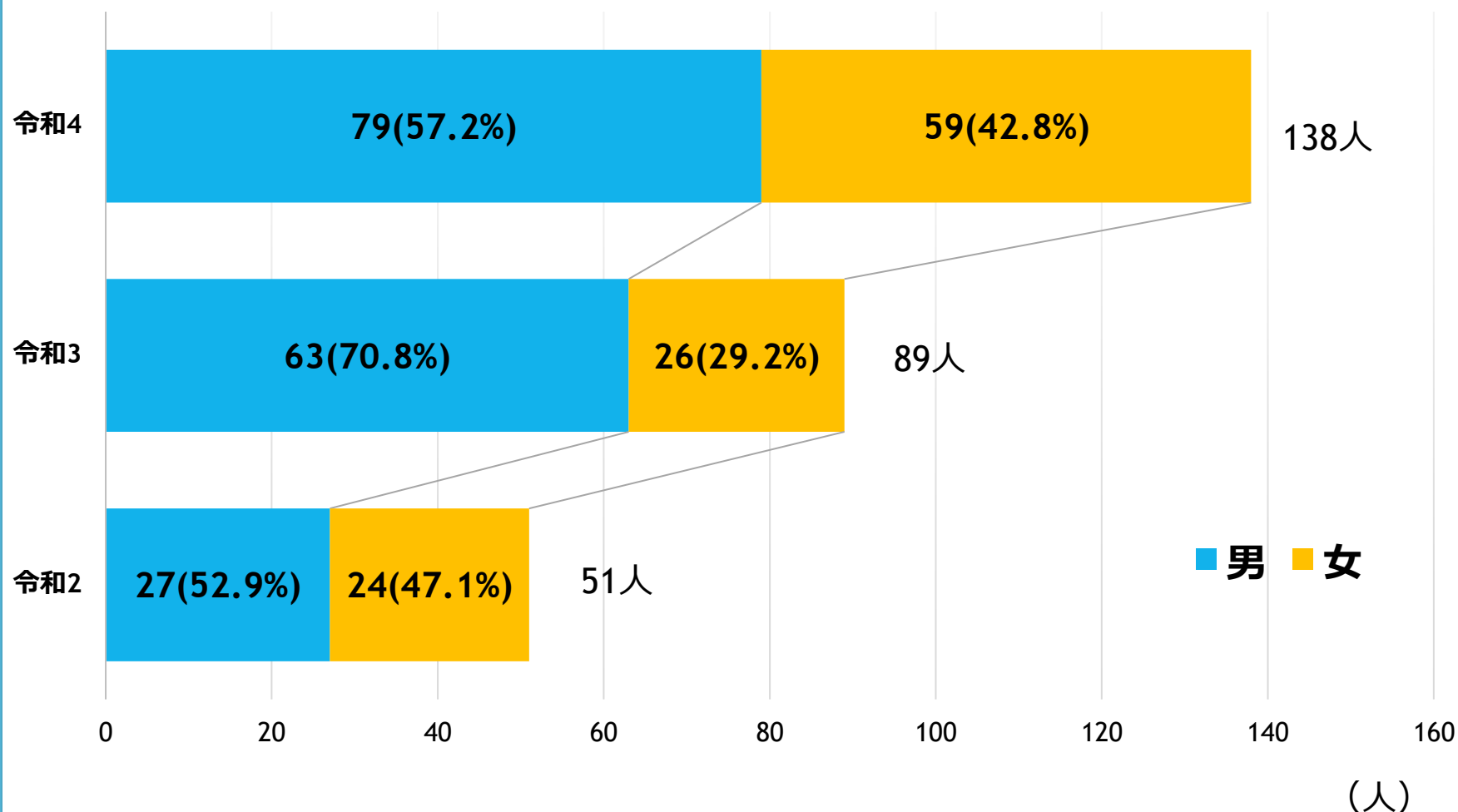
## 年代別新規登録者数の推移

※2023/3/31現在 令和2年度 51人、令和3年度 89人、令和4年度 138人 合計278人



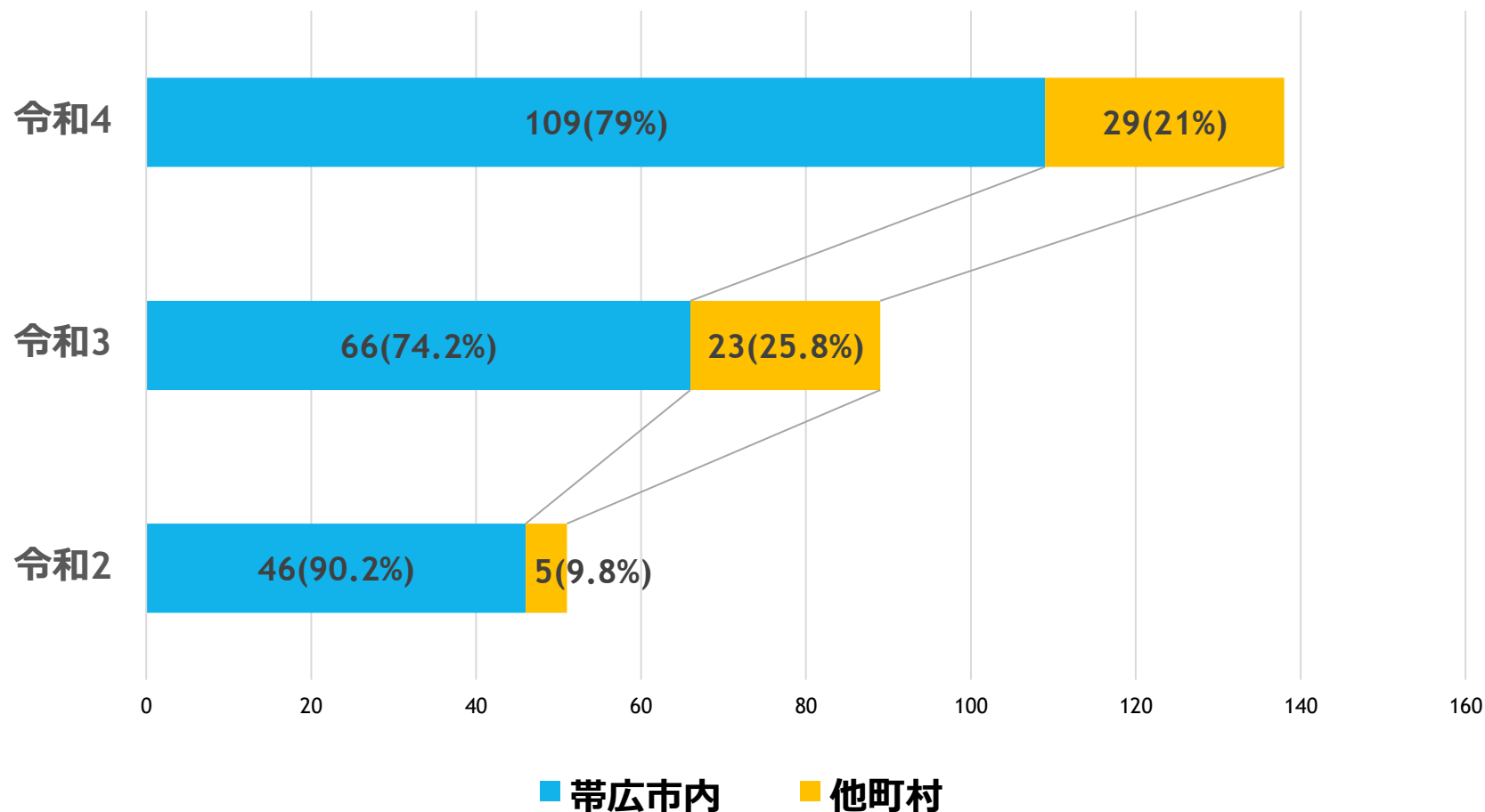
## 男女別シニア登録者数の推移

登録者数 278人 ※2023/3/31現在



## 登録者内訳（帯広市内在住/他町村在住）の推移

登録者数 278人（帯広市内221人/他町村57人） ※2023/3/31現在

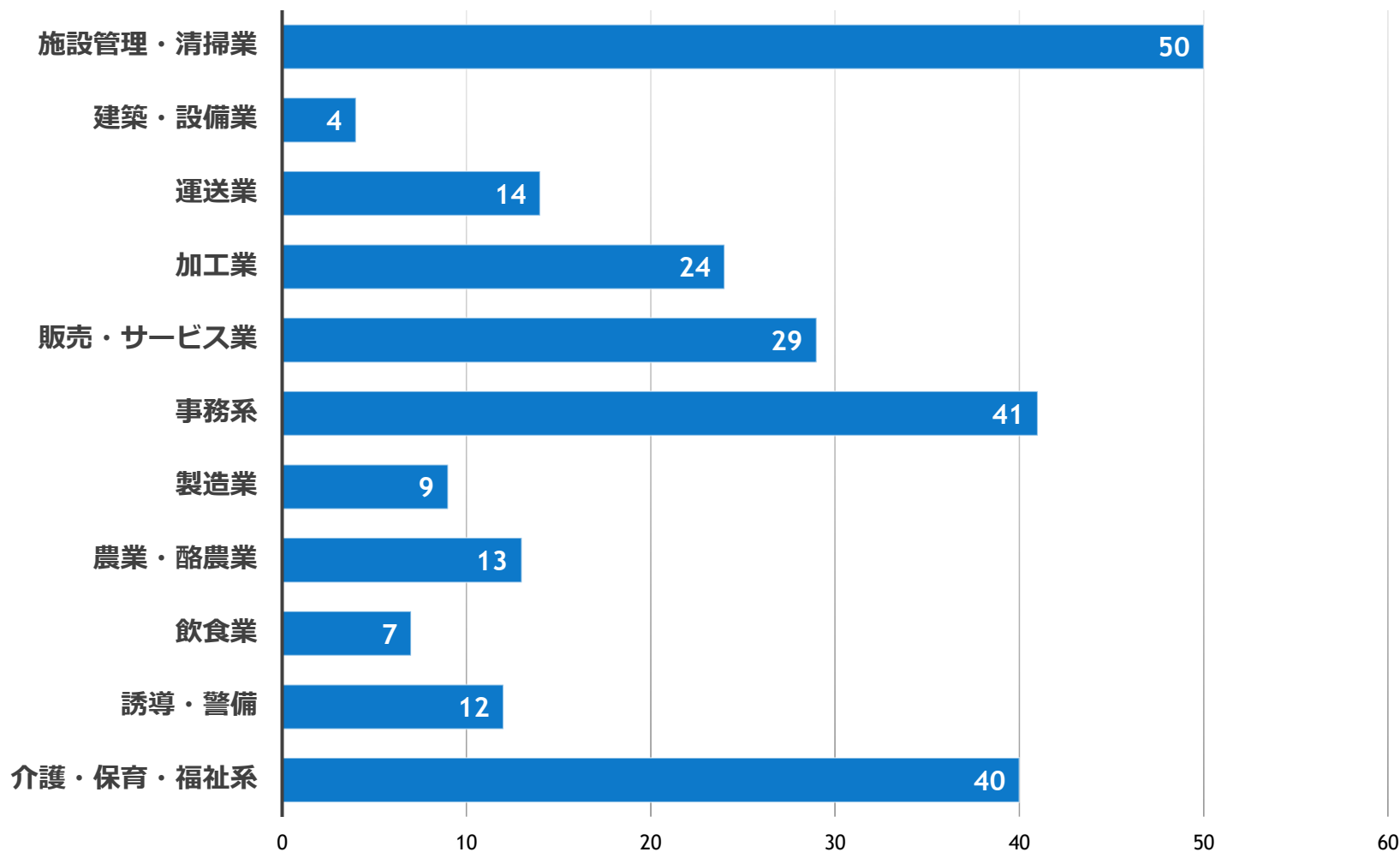


## 登録状況について

- 2023/3/31現在の登録企業総数は317社、シニア登録者総数は278人。
- シニア登録者の居住地については、2023/3/31現在で帯広市内が約79%を占めている。事業開始から他町村居住者の登録が年々微増してはいるが、まだまだ登録者全体に占める割合は低い状況である。  
他町村居住者の登録が増えてくると、他町村企業とのマッチングの可能性も高まってくるであろう。

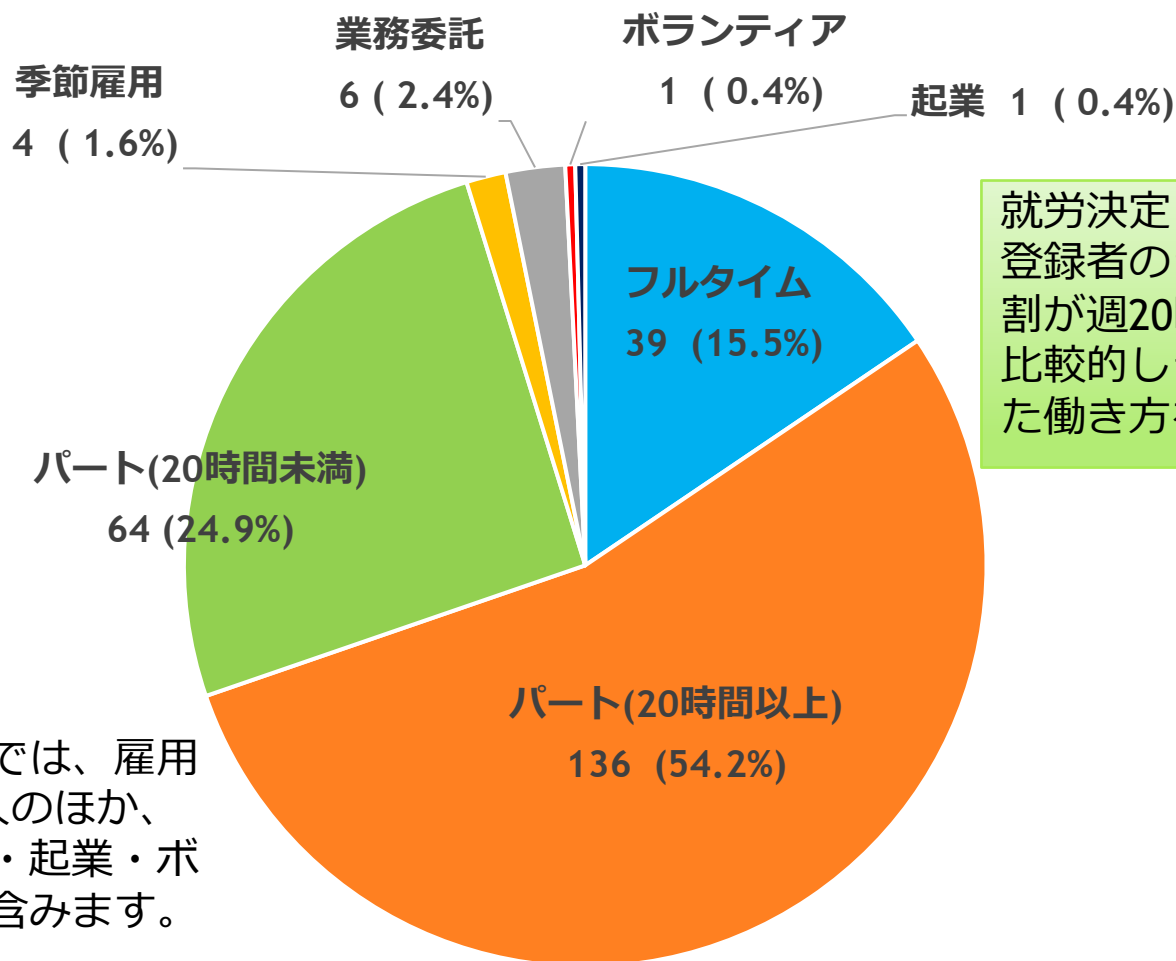
## 業種別 就労人数

就労決定者243人 ※2023/3/31現在 延べ人数



## 就労決定した登録者の働き方

就労決定251人 (延べ人数) ※2023/3/31現在



就労決定したシニア登録者のうち、約7割が週20時間以上の比較的しっかりとした働き方を選択

※右の円グラフでは、雇用契約就労243人のほか、業務委託契約・起業・ボランティアを含みます。

## 80代 女性

新聞広告を見て、年齢的な難しさを感じながらも登録した所、すぐにお仕事に出会う事が出来、あきらめないで良かったと感謝しています。本当に良いシステムだと思います。

## 70代 男性

登録して間もなく職場見学会をして頂き、実際に職場の様子を見る事ができたり、会社の方と直接お話しする事が出来たのが、高齢者にとっては理想的だと思いました。

## 70代 男性

広報おびひろでジョブジョブとかちシニアを知り、妻の助言もあり、登録をしてすぐにお仕事が決まりました。順調に決まって良かったです。

## 70代 女性

帯広市シルバー人材センター会員への会報に折り込まれたチラシを見て、事業の説明を伺い登録しました。様々なお仕事の紹介と、色々な人との出会いがあり、良かったと思います。

## 60代 男性

ハローワークの窓口の方に勧められたのがきっかけですが、シニアスタッフの方がとても熱心に相談にのってくれたので、早速登録しました。ジョブジョブとかちシニアでは年齢と自分のスキルにマッチした仕事に会え、早期に良い仕事に就職できたと感謝しています。



## シニア登録者の就労状況について

■シニア登録者は、ハローワークやシルバー人材センターなどにも登録していたり、求人情報誌を調べたりして幅広く就職活動を進めているケースが多い。

また、登録時には、企業からのリクエストを待ちながら、一方ではハローワークなどで希望に合う求人を探すと効率良く就職活動を行うことが出来る旨をシニアに伝えている。そのようなことが就労延べ人数251人(2023/3/31現在)という結果につながっているのではないかと。

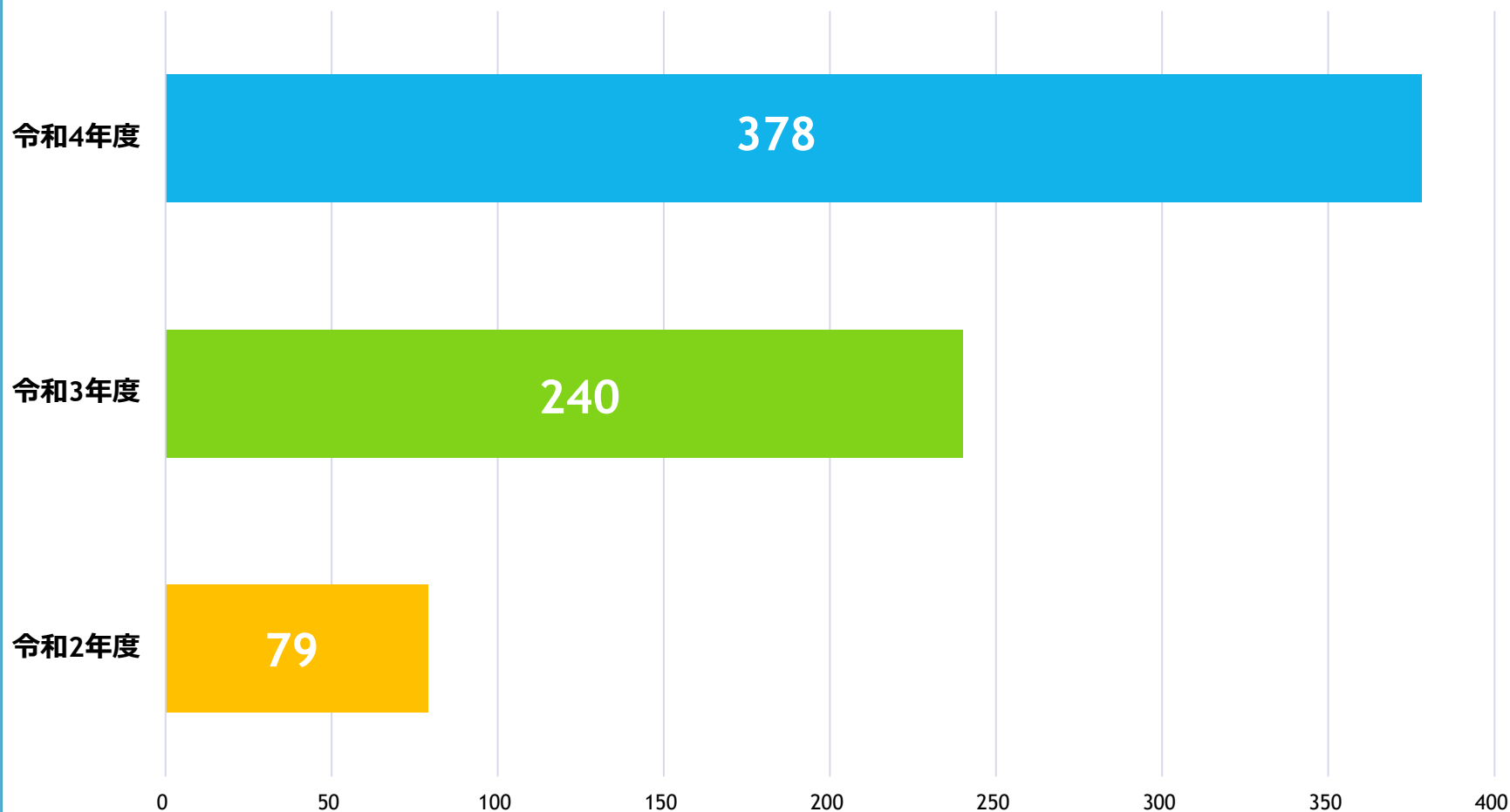
■再就職への不安や書類作成に関する悩み等を抱えている登録者を対象に、キャリアコンサルタントや支援員による「個別相談会」を実施し、スムーズな再就職が実現するよう支援。

■就労の職種としては清掃関係が最も多く、次に50代を中心に事務系の仕事、そして、介護・福祉系（調理補助、介護補助など）の職種が高い状況にある。



## 年度別リクエスト件数の推移

リクエスト総件数 697件 ※2023/3/31現在



## 職種別リクエスト件数割合

■ 介護・保育・福祉系

■ 誘導・警備

■ 飲食業

■ 農業・酪農業

■ 製造業

■ 事務系

■ 販売・サービス業

■ 加工業

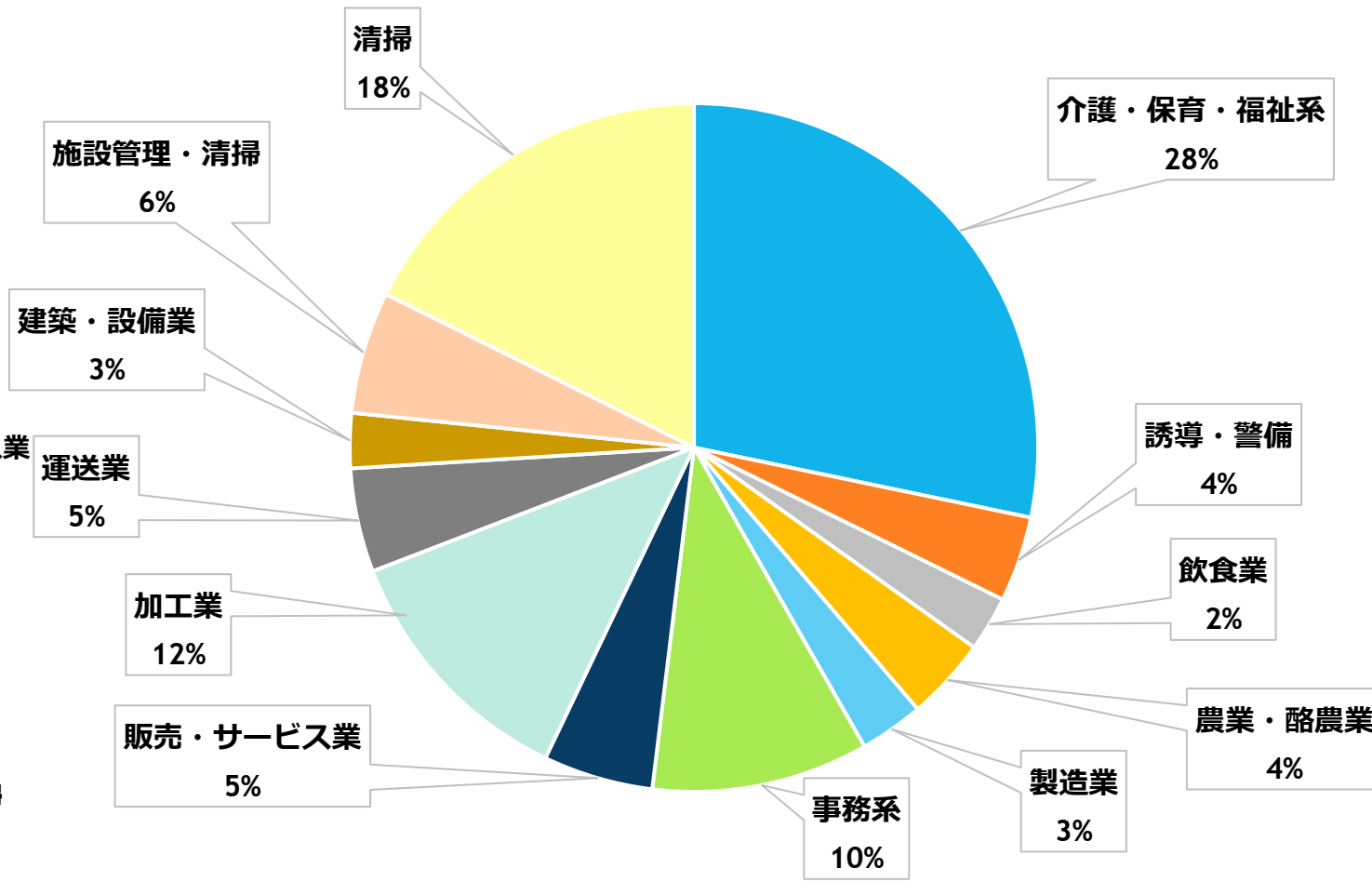
■ 運送業

■ 建築・設備業

■ 施設管理・清掃

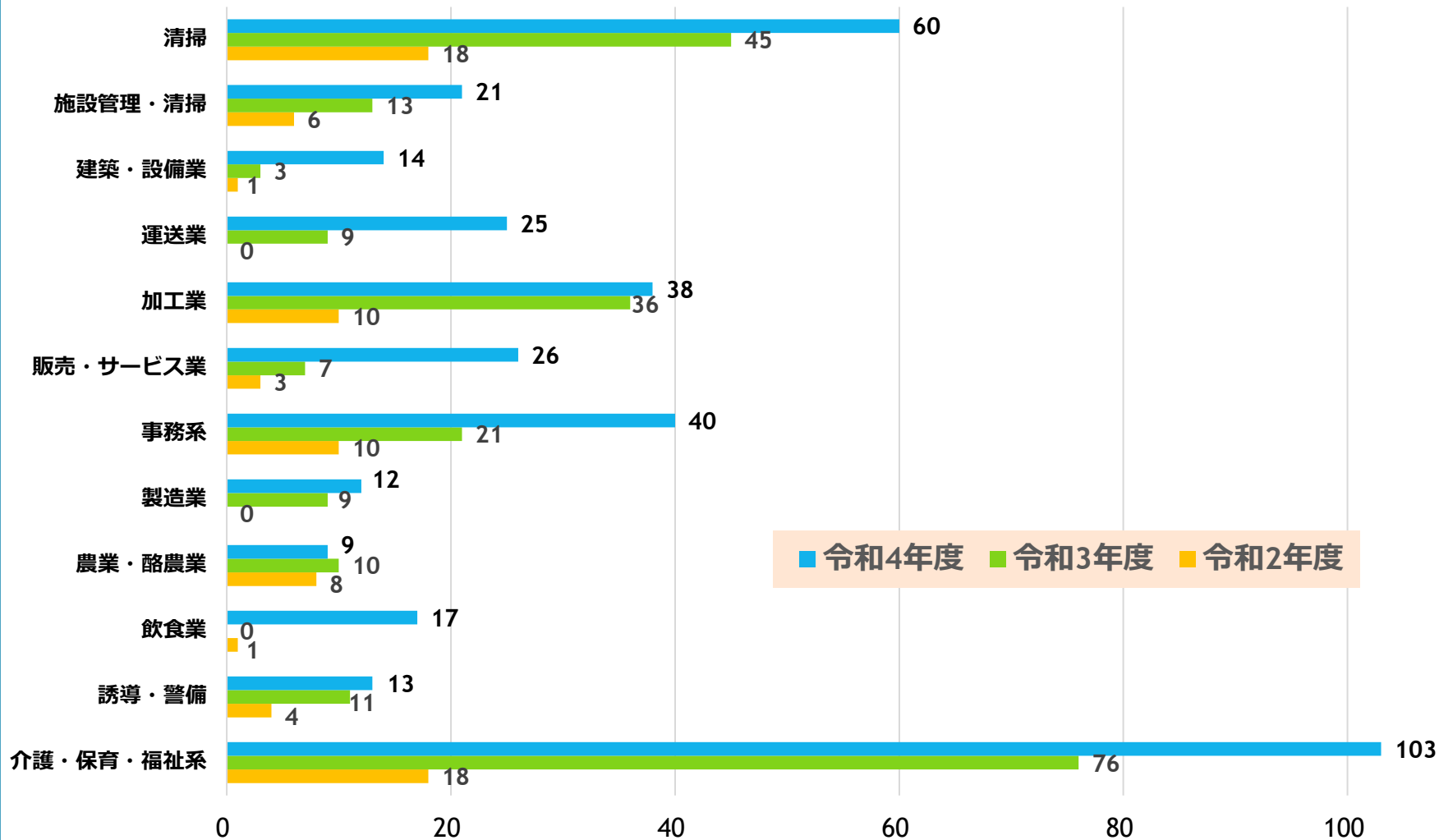
■ 清掃

総件数697件 ※2023/3/31現在



## 年度別・職種別リクエスト件数

リクエスト件数 697件 ※2023/3/31現在

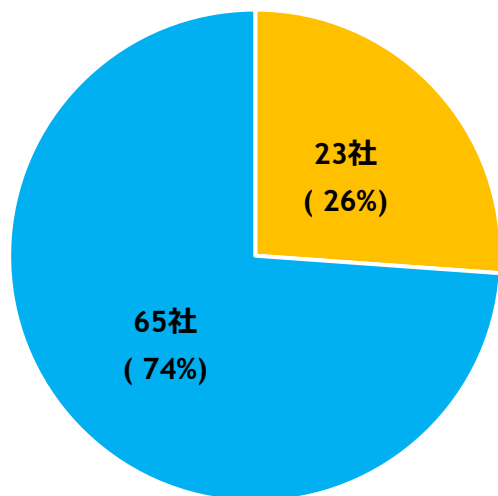


## 年度別リクエスト活用状況

※2023/3/31現在

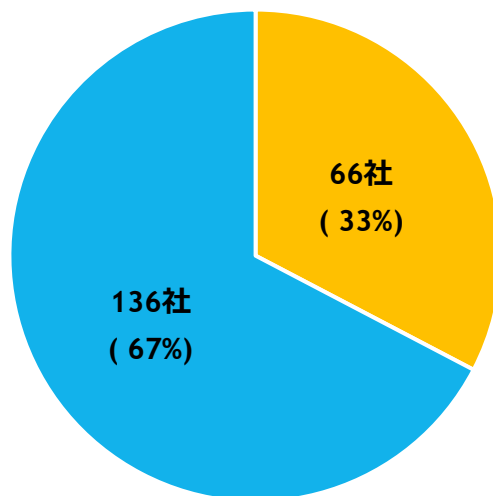
2020年度

登録企業数88社



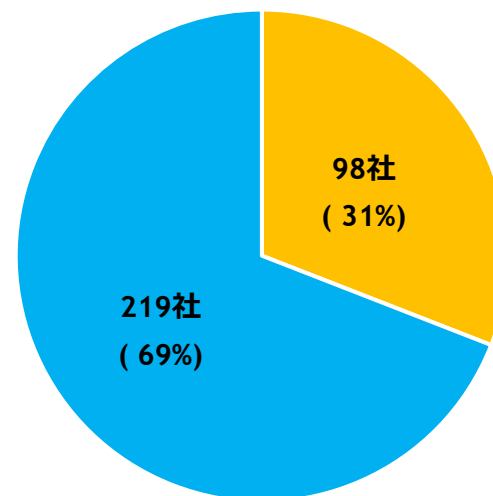
2021年度

登録企業数202社



2022年度

登録企業数317社



■ リクエストを活用した企業数 ■ リクエストを活用しなかった企業数

## 企業からのリクエスト状況について

■企業から登録者へのリクエスト数は、平均1人あたり2.5件程度、登録者へのリクエスト率は91.37%程度となっている。（2023/3/31現在）

■リクエストする企業は介護福祉系や清掃関係が多くなっているが、50代、60代の前半までは、様々な業種の事務職としてのニーズも見られる。全体として幅広い業種からリクエストが掛かってはいるが、リクエスト件数については偏りが見られる。

■登録者の希望職種や希望条件とは少しずれている求人でのリクエストも時々見受けられるが、そのような場合もなるべく登録者に通知し、求人内容を見て面接を受けるかどうかを総合的に判断してもらうようにしている。

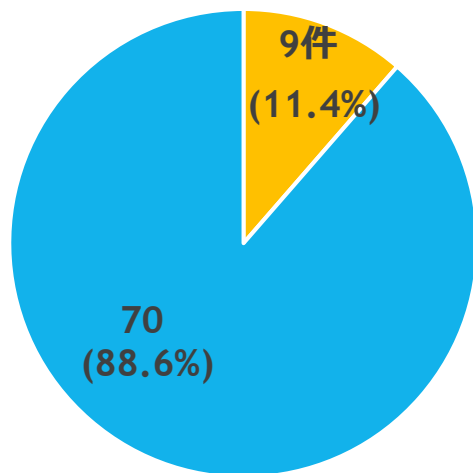
■毎週月曜日に配信するメルマガ（新規登録者情報など）を見てリクエストを掛ける企業が多い。ジョブジョブとかちシニアのホームページで登録者情報をじっくり閲覧する企業が増えれば、マッチングの増加につながるのではないかな。

## リクエスト件数に対するマッチング率

※2023/3/31現在

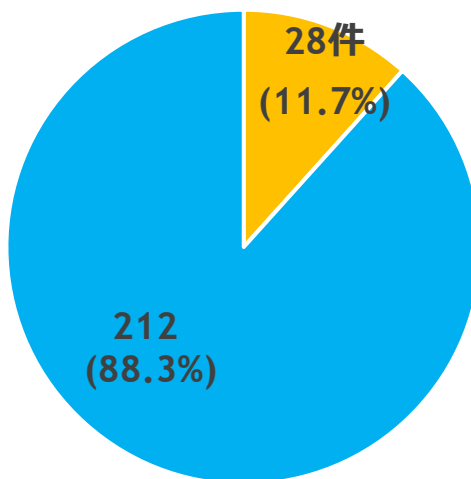
令和2年度

リクエスト総数 79件



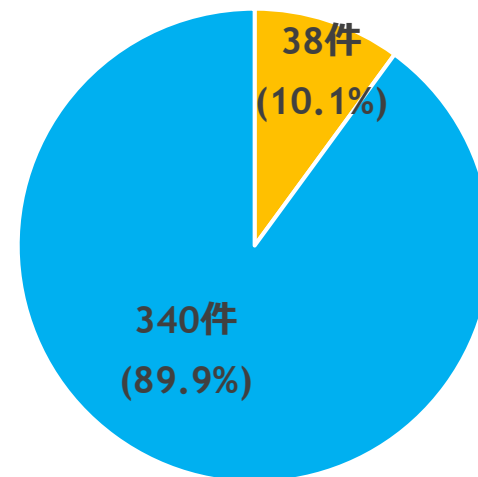
令和3年度

リクエスト総数 240件



令和4年度

リクエスト総数 378件

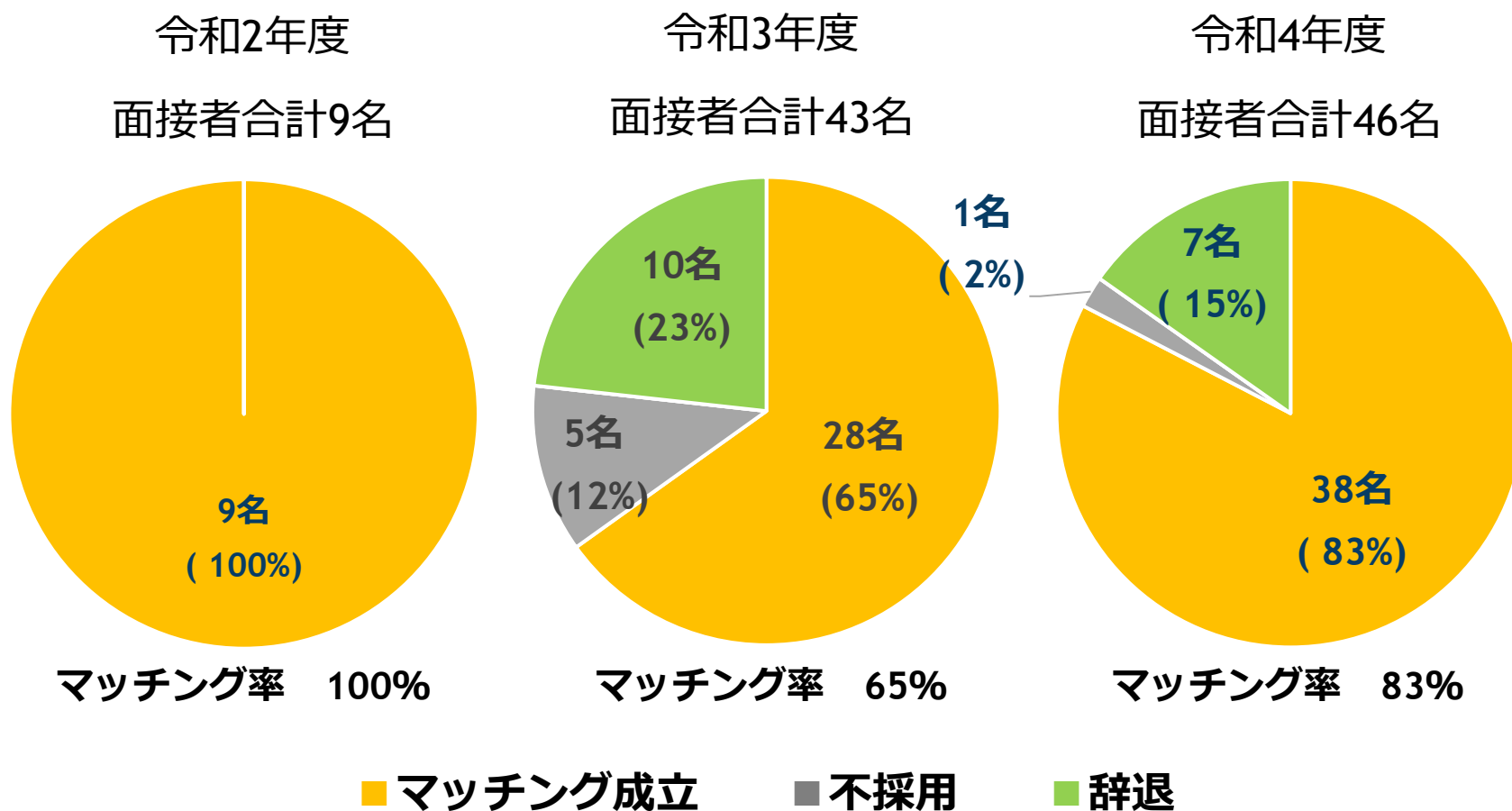


■ マッチング成立 ■ 辞退・不採用など

売り手市場の影響を受け、登録者の希望職種と異なる業務内容であっても企業側が積極的にアプローチ（リクエスト）することも、リクエスト辞退を増加させる要因の一つとなっている。

## 年度別 採用面接(職場見学)をした登録者のマッチング率

※2023/3/31現在



## マッチング状況について

■ リクエストが掛かっても、様々な理由から辞退をするケースが多く、リクエスト件数に対するマッチング率は10%~11%台に留まっている。マッチング率を低下させる要因としては、売り手市場の影響で、企業側の求職者へのアプローチが積極的になっていることが考えられる。

■ 登録者がリクエストを辞退する主な理由は以下の通りである。

- ① 「就業場所が遠い、業務内容が合わない」 .....44.8%
- ② 「他の企業への就職が決定」 .....31.8%
- ③ 「登録者自身の都合」 .....23.4%

■ 採用面接や職場見学会等で、実際に企業の採用担当者と直接話をしたり、仕事の現場を体験した登録者のマッチング率は、比較的高く推移している。上記①の理由で面接を辞退する登録者に、職場見学等で実際に求人企業へ足を運んでもらうことが、マッチング率アップのカギとなる。



▶生涯現役地域づくり環境整備事業  
「ジョブジョブと勝ち」の拡張

# 「ジョブジョブとがち」の拡張 シニアからダイバーシティへ

## 生涯現役促進地域連携事業 (連携推進コース)

## 生涯現役地域づくり環境整備事業

令和2年5月1日～令和5年3月31日

令和5年7月3日～令和8年3月31日



ジョブジョブとがちシニア  
システム運営開始 令和2年10月26日～

ジョブジョブとがちダイバーシティ  
システム運営開始 令和5年10月2日～

### システムの改修と支援対象の拡大



【支援対象】シニア求職者

【支援対象】シニア求職者・ひとり親・障がい者・一般求職者ほか

登録企業数 317社 就労決定 251人  
登録者数 278人 ※2023/3/31現在

登録企業数 334社 就労決定 312人  
登録者数 321人 ※2023/11/5現在

課題①：既存システムの改善と支援対象拡大への対応

課題解決への取り組み

## ダイバーシティ人材マッチングシステム構築による 人材マッチング支援

- ・ 既存システムの改善  
システムユーザー（企業）側の操作性や管理者（協議会）側の操作性及びデータ管理のしやすさなど、全体的な使いやすさの向上
- ・ 支援対象拡大への対応  
シニアのみならず、ひとり親や障がい者、一般求職者など多様な人材の登録に適應するシステムの構築



# 「ジョブジョブとかち」の拡張 ステップアップのための取り組み

## 課題②：雇用のミスマッチ防止

### 課題解決への取り組み

## シニアを中心としたダイバーシティ人材向け企業お仕事説明会の実施

- ・ 企業側と求職者側が、実際に会って仕事内容や勤務条件などについて話することにより、業務や職場環境への理解を深め、不安を解消する機会を提供する。
- ・ 企業側：求人票だけでは伝わらない実際の業務内容や勤務条件、職場環境等について、資料や動画等で求職者にPRすることができる。
- ・ 求職者側：書類選考なら年齢だけで判断されることが多いが、これまでの職務経験や自身の体力的な面、就労への意欲などを直接企業の担当者に訴えかけることができる。

### 2023/10/17 第1回お仕事説明会 開催

- ・ 出展ブース：登録企業 15社、就労支援窓口 2団体
- ・ 来場求職者：40人
- ・ 就労決定：5人（2023/11/6現在）



十勝毎日新聞 令和5年10月23日付



待たない  
採用活動

## 欲しい人材を自分で探す 逆指名型マッチングシステム

### 登録するメリット



登録求職者数 増加中!!  
**登録無料  
簡単登録**

増加中



#### Point.1

多様な人材を支援する求職マッチング事業

- シニア人材に特化した求職者マッチング事業を令和2年10月から実施し、登録者が増加中!
- 「ジョブジョブとかちシニア」から「ジョブジョブとかちダイバーシティ」にパワーアップ!  
シニア世代を始め、ひとり親など子育て世代のほか、一般求職者や障がい者など対象を拡大。
- 登録者全員が当協議会の実施する面接などをクリアした人材です。
- 企業登録は無料なうえ、お申込みフォームから必要項目を入力だけで登録完了。



豊富な経験と知識を持つ  
**有資格者が  
多数登録**

#### 登録者保有資格一部ご紹介

- | 建築・土木関係       | 介護・福祉・教育関係  | 運輸・倉庫管理関係    | 事務系              |
|---------------|-------------|--------------|------------------|
| ● 1級管工事施工管理技士 | ● 介護福祉士     | ● 大型自動車第2種免許 | ● 日商簿記検定1級       |
| ● 2級管工事施工管理技士 | ● 介護支援専門員   | ● 大型自動車免許    | ● 日商簿記検定2級       |
| ● 1級建築士免許     | ● 介護初任者研修終了 | ● 大型特殊運転免許   | ● MOS Word 2016  |
| ● 1級土木施工管理技士  | ● 認知症助士     | ● 中型自動車運転免許  | ● MOS Excel 2016 |

その他、多様な技術を持っている人も登録  
グラフィックデザイナーとして雑誌広告などデザイン(50代男性) / 大工のお仕事一筋38年(60代男性) / 作製から修理まで! 家具1級・建具

#### Point.3

即戦力となりうる人材が多数登録

※お仕事決定した方の資格が含まれている場合があります、  
検索でのご確認をお願いいたします。

#### Point.2

応募を待つのではなく、逆指名!  
ピックアップから同行面接・職場見学など  
幅広くサポート!

- 企業からのご要望に応じて、求職者の情報をピックアップして提供します。
- 職場見学会を提案し、求人票だけでは見えてこない仕事に対する求職者の不安解消と、就労意欲の向上を図ります。
- 協議会職員が面接に同行させていただき、認識のズレや聞き漏らしが無いようサポートします。

2020年10月～  
2023年3月までの  
マッチング率 **82%**

就労意  
欲を  
サポートします!

こんにちは相談も!

求人出していないけど誰かいない?  
「〇〇だけ」してほしい!  
特定の条件にあう人いるかな?

登録者ピックアップの  
ご依頼もOK



### 【課題】

せっかく企業からの面接リクエストがあっても、面接には進まず、求人票を見ただけでリクエストを辞退するケースが8割以上。



メール・ファックスで、新規登録者の情報やこれまでの登録者の情報などをいち早くお知らせいたします。  
情報配信後、複数の企業からリクエストがございます。興味をもった人が見つかりましたら、まずはお電話ください!



### 登録からリクエストまでの流れ

#### 新規登録

ホームページの新規登録からメールアドレス、企業情報等を入力し登録

#### サイトログイン

承認メールが到着後、このサイトにて公開登録者情報が無料で検索・閲覧できます。

#### 協議会へ連絡

気になる求職者の連絡用番号を協議会へ伝えます。協議会からリクエスト方法をお知らせします。

#### リクエスト

ハローワークまたは人材紹介業者にリクエスト番号を連絡してリクエストします。

#### 求人票送付

ハローワークまたは人材紹介業者から求職者へ求人票が送られます。

#### 面接

求職者が求人票を見て貴社への面接を希望された場合、面接へと進むことができます。

「ジョブジョブとかち」の拡張 ステップアップのための取り組み

課題③：求人票を見ただけで企業からの面接リクエストを辞退する求職者を減らし、企業と求職者の出会いの場をできる限り増やしていく

課題解決への取り組み

## シニア世代向けインターンシップ事業の展開

企業がシニア求職者にリクエストをかけた段階で、企業側にインターンシップの受け入れを提案していく。

- ①無給でのインターンシップ・仕事体験  
半日-3日間程度の短期間、短時間のお仕事
- ②有給でのインターンシップ  
1週間程度の業務に従事

企業と求職者が出会うことによるメリット

- ・企業側 「シニア求職者にこの業務ができるだろうか？」
- ・求職者側 「自分の体力でこの業務ができるだろうか？」

双方の不安の解消  
業務への理解促進（求職者側）  
人材定着（企業側）



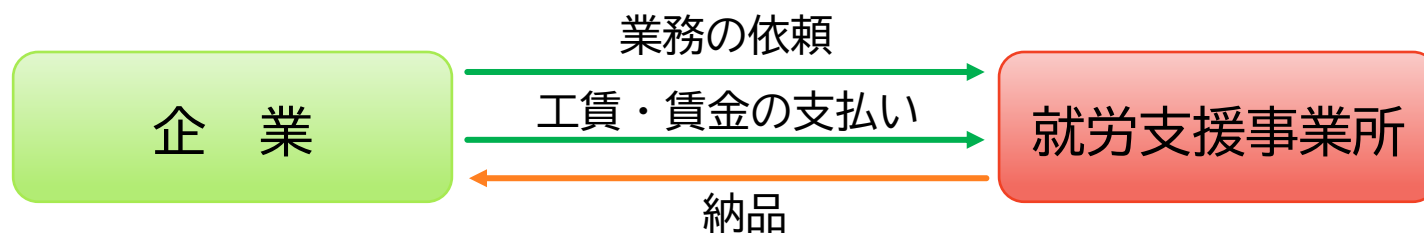
**ミスマッチの低減**

課題④：新たに加わった支援対象への対応（障がい者対応）

課題解決への取り組み

## 農福連携や就労支援事業所と連携したダイバーシティ人材の人材マッチング

- ・シニア人材と障がい者が、それぞれの役割を分担することで業務遂行可能となる仕組みづくり
- ・農作業や企業からの業務を就労支援事業所が業務委託・請負で実施する形式を取りながら、その業務に事業所の利用者（障がい者）が従事することで、賃金や工賃を受け取る仕組みを構築する。



これらの仕組みを構築するには、企業と就労支援事業所へのヒアリングを行い、それぞれのニーズを把握してマッチング支援へとつなげていく

課題⑤：新たに加わった支援対象への対応（主に障がい者、ひとり親対応）

課題解決への取り組み

## 全方位型アナログ型就労支援メニューの拡充

- すべての人材を対象として、ワンストップで切れ目ない就労支援の仕組みを構築することにより、地域の雇用環境を改善し、生涯現役地域づくりの環境整備を図る。
- シニア世代、ひとり親、障がい者などの区分けを超えた、あらゆる世代や属性の人材についても就労支援やマッチング支援を行う。
- キャリアコンサルタント等に協力いただき、求職者への個別相談業務を担っていただく。
- 母子家庭等就業・自立支援センター（帯広市社会福祉協議会）や十勝障がい者就業・生活支援センターなど、ひとり親や障がい者の就労支援窓口となっている団体との連携を深め、支援の幅を広げていく。
- 求職者に直接会い、または電話などで実際に会話を交わすことで、求職者に寄り添った支援が実現できると考える。



課題⑥：多様な人材への周知方法

課題解決への取り組み

支援対象ごとに周知方法を工夫

周知方法	シニア	ひとり親	障がい者	一般求職者
ホームページ	●	●	LINE Instagram Facebook	●
SNS	LINE Instagram Facebook	LINE Instagram Facebook X	LINE Instagram Facebook	LINE Instagram Facebook X
求人誌広告、記事	●	●	●	●
新聞広告、記事	●			
ハローワーク チラシ設置	●	●	●	●
シルバー人材セン ター会報折り込み	●			
帯広市広報	●	●	●	●



ジョブジョブとから  
ダイバーシティ

ご静聴ありがとうございました。

帯広地域雇用創出促進協議会